

平成27年度  
第3回朝日地域振興懇談会

会議録（概要）

期日：平成27年11月18日（水）

場所：鶴岡市朝日庁舎 大会議室

平成27年度 第3回 朝日地域審議会 会議録

- 日 時 :平成27年11月18日(水) 9時30分から11時20分まで
- 会 場 :鶴岡市朝日庁舎4階 大会議室
- 出席委員:敬称略・五十音順  
安達文一、伊藤弘光、伊藤文一、井上時夫、工藤悦夫、佐藤照子、佐藤宥男  
帯刀とく子、松本壽太、山口弘美、渡部巖、渡部小枝、渡部順子
- 欠席委員:敬称略・五十音順  
五十嵐英紀
- 市側出席職員  
【庁舎】朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業課長、南部建設事務室長  
総務企画課職員  
【本所】企画部政策企画課課長補佐、政策企画課主査  
企画部地域振興課地域振興専門員

一次 第一

1. 開 会
2. あいさつ
3. 協 議
  - (1) 鶴岡市総合計画実施計画の策定について
  - (2) その他
4. そ の 他
5. 閉 会

## 1. 開 会 9時30分 (進行 総務企画課 工藤課長)

- ・ 出欠席の確認
- ・ 配布資料の確認

## 2. あいさつ

### ○会長

皆さんおはようございます。また本所の職員の皆さん本当にご苦労様でございます。

今日は第3回目の地域振興懇談会ということで、今まで2回やってきた訳ですけども今日は鶴岡市の総合計画の実施計画ということで皆さん方から意見を聴きたいというようなことでの会議になりますので、充分皆さん方も資料には目を通してきたかとは思いますが、まず今日は時間の許す限り忌憚のないご意見をいっぱいいただければと思います。地域振興懇談会が終わりますと全体の総合計画審議会が行われる計画になっているようでありますので、今日は地域の課題というものを特に皆さん方からご意見を出していただけて有意義な会議になればと思っております。今日はそういうことでよろしくお願ひしたいと思います。

### ○朝日庁舎支所長

皆さん、おはようございます。本日の第3回朝日地域振興懇談会の開催にあたりまして、委員の皆様には冬支度など秋始末等の何かとお忙しい中ご出席を賜りましてありがとうございます。

早いもので、今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。これから本格的な降雪の時期を迎えますが、11月からの3か月の長期予報によりますと平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いという予報でございました。冬期間の除雪対策につきましては、当地域にお住いの皆様にとりまして、大変大きな関心事であり、先月27日には、国土交通省で国道112号の除雪車出動式を行ったところでございます。庁舎といたしましても雪対策は、冬期間のもっとも重要なことであると認識しております。この冬も事故の無い安全・安心な冬となりますよう、国、県など、各機関と連携を密にしながら万全の除雪体制で臨みたいと考えております。

また、先月は環太平洋連携協定いわゆるTPPですけれども、これの大筋合意がなされたという報道がありました。国や県では効力の発行に向けた対応を検討しているようでございますが、まだまだ不透明な部分が多くあります。特に農業分野におきましては、生産価格の下落ですとか農地の荒廃を招かないようなこういう施策をとってほしいというように願っているところでございます。

さて、本日の振興懇談会につきましては、平成28年度から30年度までの3年間の鶴岡市総合計画実施計画の策定について協議していただくこととなっております。内容につきましては本所企画部政策企画課から説明していただきますが、委員の皆様からは地域目線に立ったご議論ご意見を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

本日はよろしくお願ひします。どうもありがとうございます。

## 3. 協 議

### ○総務企画課長

つづきまして3の協議に入りたいと思います。協議の議長は安達会長にお願いしたいと存じます。

なお、本日の予定ですけれども11時00分を目途にということでご協議いただければと存じます。それでは安達会長よろしくお願ひいたします。

○会長

それでは今、今日の予定ありましたとおり時間の許す限り皆様さんからご意見をいただきたいと  
思います。最初に協議3の説明の方に移らせていただきます。鶴岡市総合計画実施計画の策定につ  
いてということで事務局から説明をお願いしたいと思います。

(1) 鶴岡市総合計画実施計画の策定について

説明 資料1 政策企画課主査 一略一

○会長

はい、ありがとうございました。配布されました資料について概略的に説明していただきました。  
これから皆さんからそれぞれの立場で意見、感想を出していただければありがたいと思います。皆  
さんに回す前に私の方から確認をしたいのですが、この実施計画資料をもらったものは平成28年  
から30年度までになっています。今年の春にもらった冊子は27年度から29年度までの計画に  
なっていましたけれどもその辺はどのようなことなのでしょう。

○政策企画課主査

申し遅れましたけども、実施計画というのは3年のスパンで考えておきまして、これを1年ず  
つ毎年ずらして作っていきたくて思っております。前回は27～29を作成しまして、1年後に今  
ご審議いただく28～30ということで、1年ずつずらして毎年実施計画を作っていきたくて思っ  
ております。

○会長

はい、わかりました。それでは早速皆さん方から、できれば皆さん一声ずつ声を出していただ  
ければありがたいと思います。大変計画が立派でカタカナ文字がいっぱいあって、私もついていけ  
ないところもあるのですが、それと新規事業もだいぶ出てきております。そういうものも含めて皆  
さんから一言ずつ出していただければ、これからの朝日地域の課題解決に向けてそれぞれ何かいい  
アイデアとか意見が出てくれればありがたいと思っていますのでよろしくお願ひしたいと思いま  
す。だいたい3ページから5ページまでのものを詳細的に6ページ以降で説明しているというよう  
な形になりますので、6ページ以降の1つ1つのものの方がわかりやすいのかなと思いますし、  
その辺よろしくお願ひしたいと思います。

○副会長

30ページの上から2段目のコミュニティセンターなどの整備ということですが、朝日地  
域にある「すまいる」、それから「ふっくら」こういうところの活用の仕方がだんだん変わって  
きて、いったいどんな風にして使えるのか、朝日地域の人たちもよくわからないところが多い  
と思っています。ふっくらは夜使えないとか、中央コミュニティは調理室が使えない状態にな  
っているとかそんな風に聞こえてきます。それから、今日も産直あさひグーの2階には「ま  
めの会」といつて9名のお年寄りの方がみえていますけれども、2階にお年寄りが上がる  
のは大変なところ。そんなことを考えると、もっと気軽に公共の場を使えたらいいの  
かなというように思っています。その辺も取り組んでもらえればと思います。

### ○市民福祉課長

先日の老人クラブの役員会でその席上でもふっくらを夜は使えない、中央コミセンの調理室も使えないということで、結局南部コミセンの調理室を使わせてもらったという意見が出ました。開館条例を見ますと8:30~17:15になっていますが、前は使っていたということで使わせてもいいのではないかとということ課内で今協議しております。今までふっくらは高齢者の福祉施設ということがありまして、福祉の目的であれば使用料が全額減免になっています。業者の方が入る以外は減免になっているという状態なのですが、例えば、夜、調理室を使うときは光熱水費もかかる訳ですのでその辺はいただいてもいいのではないかとということで協議しているところです。

### ○委員

森林組合からということですので、今杉山になっているところに行ってもほとんどおもしろくありません。雑木山の方がずっとおもしろい。杉など動かしても今儲からない、おがしげにすると赤字になるような再造林もできないような値段になっています。山に興味を持ってもらうには、特用林産から入ってキノコ、山菜、山野草などの生産を進めてもらうような方策を取ってもらった方が、山を活かせるのではないかと今はそういうふうに思っています。個人で間伐などするよりも、集約化で何十町歩何百町歩という単位で作業道作って共同でやるという形を今はやっていますので、集落で誰か中心になって進めれば山の方は進んでいくのではないかなと思っています。それから、県知事がトップセールスをしている「つや姫」ですけども、大網大泉は作って悪いという地域になっている訳です。なぜなのかというところをJAから聞いてもあまりはっきりわからないところがあって、大網大泉のコメは平場より美味しくないということは事実無いと思っています。昨年から私の家のコメを食べている人がいるけれども、平場のはえぬきを買って食べたけども美味しくなくてダメだということで刈り始めたらすぐに取りに来た。千葉県に住む子どもから、千葉でいい方のコメを買ったけれども美味しくないので、家のコメを早く送ってくれと言われたことがあるし、そういうことで大網大泉は不公平感を感じているので、ぜひ県の方に働きかけて作れるようにしてもらいたいと思います。それから荘内病院だけでも周りで手術した人から、最近荘内病院はあまり聞こえていません。日本海病院、余目病院とか協立ということで、県外まで遠いところに行っている人までもいるようですけども、町の医者の下請け病院になったような感じがします。いつも診てもらえない病院になってしまったということになっているようで、市民が行ってすぐに診てもらえるような状況に戻してもらえないだろうかと思います。私の友人が奥さんに先立たれたのだけれども、あまり痛がるから救急車で連れていったら、何でもないので家へ帰れと言われて大変な思いをして連れてきて、別の日に違う病院に連れて行ったら大変な重病だということで、とうとう亡くなってしまったけれども、腕のいい医師も集められるようないい病院にしていきたいと思います。

### ○産業課長

私の担当としまして3点のようです。1つは特用林産の生産の促進です。第1回目、第2回目でもお話しております。自治会長会議等でもお話しておりますけれども、非常に重要なことですので鶴岡市としても50%を限度として支援を行っております。今年度の場合は概ね終わったわけでございますけれども、昨年度から特用林産の関係では販売を目的とするとハードルが少し高くなっておりまして、今年度の補助率39%ということでかなり申し込みが多くて50%まで手が届かなかったという実態がございます。特にキノコ類についてはどういう訳か自然の現象なのですが、山の

状況で大変不作といいますかそのように生産者の方から伺っております。来年はぜひ50%を確保したいということで、若干増額をした予算要求を行っているところでございます。これについては特に重要な支援事業でございますので重点的に取り組んで参りたいと考えております。それから林務の関係で作業道の関係についてもこちらも毎年申し上げていますが、作業道の開設については支援をさせていただくとお話ししておりますけれども、今、委員の方からお話があったとおり林業からなかなか収益がでないというようなことで、そちらの方に取り組む方々がなかなかいないというのが現状でございます。どちらかという森組合さんが中心となって物事を展開するというような実態でございます。ただ個人的にも山を大事にしようということで取り組んでいるおられる方がおりましたら、ぜひ産業課の方へご紹介いただければと考えております。それからつや姫の関係でございますがつや姫の栽培マップというのがございまして、県のつや姫ブランド室が策定したマップの中には確かに大網、大泉は入っておりません。今年度つや姫の栽培農家の方が庄内地方で農業法人もあるわけですが2,004個人団体が認定を受けてつや姫の栽培に取り組んでおります。朝日地域では2法人2個人、確かに大泉、大網については作付が認可されないという実態にございますので、そのマップの策定にあたってどのようなものが基準になったのか、早速県の方に問い合わせをして回答させていただきたいと考えております。

#### ○政策企画主査

荘内病院の医師関連でありますけれども日本海病院等と連携しながらやっている科もあろうかと思っております。そういった関係で荘内病院に行ったり日本海病院に行ったりということも実際あろうかと思っております。行っても診られないというお話をいろいろなところでお聞きしますけれども、全部の科がそういう訳ではなく、半分ほどの科が紹介状を持ってきてくださいという仕組みになっておりますし、その他は外来で診てもらえると、科によって取り扱いが違うというのが現実でございます。地域の医療機関とうまく連携していきましょうということからそういったことを進めているところでございます。医師確保につきましては、これまで新潟大学とか山形大学を中心に医師派遣をお願いしていた訳でありますけれども、現在他の大学等もあたりながら幅広く医師確保には務めているところでございますし、また先程申し上げました就学資金援助の学生も何年後かには帰ってくるわけでございますし、すぐ名医になるわけではないでしょうけれどもそういった方も将来育っていけば医師確保につながっていくのではといろいろ取り組んでいるところでございます。

#### ○委員

どういった科がすぐに行って診てもらえるのか、どういう科が紹介状いるのかその辺は。

○主査 今手元に資料がありませんので即答はできませんので申し訳ありません。

#### ○委員

荘内病院の医師確保として新潟病院の方からと言っていましたけれども、割と先生が頻繁に変わるのです。ずっと診てもらっていったにもかかわらず、担当しているにもかかわらず「実は私、間もなく新潟の方に帰るのですよ」とそう言われたことがあるので、そういうことは絶対に無いようにしてもらいたいと思います。手術してもらいたくて全部手術の検査をした後で「実は私、間もなく帰るのです。今度新潟から新しい先生が来るのです。」そう言われまして、その先生が来たらその

先生が来たでまた新たに検査し直しですと思いましたので、セカンドオピニオンとして日本海病院に行ったのですが、そういうことがありましてすごく不快に思いましたのでそういうことが無いようにしてもらいたいと思います。

○会長 はい、これは意見としてよろしいですか。はい、その他。

○委員

荘内病院の関係でお願いします。今現在悩んでいる最中のことなのですが、私自身は荘内病院で命助かっています。私の身内で今現在通っているのですが原因不明で2ヶ月も経っています。5、6か所の科を渡り歩いているのですけれども結果がわからない。周りの人は気を揉んでいるものだから日本海へ行った方がいいのではないかと近くの医者の方がいいのではないかとされたものですから、私も運転手で連れて行ったりしたのだけれども、いざその医者に行くと「どうしてうちに来たのですか」とか「どうして二股掛けるのですか」とか言われたので、荘内病院で治すしかないのかなと戻って家族会議もしています。できればそのような名医の方を日本海から何曜日何曜日と各科名医の方を呼んで、外来とか救急とかそういうような治療をされたらもっともともと荘内病院が景気も良くなるのかなと思うのですけれども、そのような意見があったということをお願いしたいです。

○会長 はい、よろしいですか。それじゃ、その他。

○委員

重点方針の(1)に5つの柱があるわけですが、例えば②観光文化都市と⑤森林文化都市とのタイアップ、このタイアップというのは考えられないでしょうか。これは私の思いつきですが加茂水族館の集客が非常に当たった訳です。加茂水族館におみえになった方が大平のわらび園にわらび体験に来るとかそんなタイアップの方策を何か考えていただければありがたいなと思いました。それからもう1点、先程ありましたが担い手が非常に森林もそうですし農業もそうですし担い手不足に非常に悩んでいる訳です。文章を読むとその担い手の不足に対してどのような手立てを取って新たな人を担い手として取り込んでいくのかという具体的な手立てがちょっと見えないような気がして少し残念な気がしました。

○産業課長

1番目の観光と森林文化都市のタイアップの事業というお話でございますけれども、朝日地域につきましては旧朝日村時代から山なくして観光はないという主眼をおいておりますのでそういったものには心がけてきたつもりでございます。六十里越街道、朝日連峰の登山、タキタロウ館、その界隈にスキー場等もあるわけですが、こういったものは全てある意味で観光と森林文化都市という意味が充分内在されたものだと認識をしてPR、観光パンフレット、ホームページの方にも掲載をさせていただいております。合わせて食文化ということで新そばと六十里越街道を組み合わせるとかそういったものも頻繁にやっているつもりでございます。ただ、新しい鶴岡市になって10周年になったわけでございますけれども、それを全市的に広げるという意味で今後とも市の観光のいろいろな場面でそういった連携の事業に対して、新しいアイデアといいますか付加価値を付

けるイノベーションに取り組んで参りたいと考えております。やっとな皆さん方顔も知れてきて各町村の人柄といいますか土地柄そういったものがようやく少しずつわかってきた時代に入って参りましたので、さらに促進すべきものと考えております。担い手についても特に農業の関係について、認定農業者の間も申し上げたと思えますけれども現在52名程おります。昨日も1名の方が認定農業者になると何が特典あるのだということで相談に訪れたというようなことで、新たな就業機会の確保といった部分では少しずつ地道ではありますが農業の分野では取り組んでおります。ただ収益を安定的には図れないというのが大きな課題でございまして、これに追い打ちをかけるようにTPPの大筋合意で農業畜産に一番打撃が来るだろうということでかなり表に出てますけれども、そういったものが足かせにならないように市全体としても、庁舎は庁舎として朝日地域の特性を申し上げながら皆さんと一緒に取り組んで参りたいと思えますので、機会あるごとにご意見等よろしくお願ひしたいと思えます。

#### ○政策企画課長補佐

ただ今新規就農の話が出ましたけれども、先程説明しました総合戦略という中では当然人口減少対策の1つとして仕事づくり移住定住こういった項目が挙げられております。本日資料の19ページになっておりますが全て詳しく説明できないものですから、なかなかこちらの意図が十分に伝わらなかったのかなという感じがしております。新規就農者の確保ということで新規農業者研修受入れ協議会というのが今年の8月にできまして農協さん等いろいろなタイアップしまして、その受け皿と言いますか技術的な部分、知識こういったものを受け皿として育成をしていくというのが1つございます。また、山形大学農学部さんで間もなくNPOを立ち上げて、例えば山形大学農学部を卒業したのに就農しないというか全く関係ない企業にお勤めになる方もいらっしゃるようなので、そういった方が卒業後も農業なりそういったものができるような組織ということで立ち上げる予定になっております。庄農高生も当然できるわけですがけれども、そういった方がUターンIターンができるような受け皿、例えば農地の確保であったり農業機械を購入する場合の支援であったりこういったものも市の方でも支援をしていながら一体となって就農者を増やしていきたいと考えております。総合戦略の中では年間10人くらいずつ新規就農を増やしたいという目標数値を上げております。

#### ○委員

ありがとうございました。もう1点いいでしょうか。昨日地域づくりフォーラムに参加してまいりました。その際に講師の大橋先生から助言をいただいた中で、ネット配信をもっと有効に使用すれば集客もできる朝日のPRもできるという、ネットのことを再三にわたってアドバイスをいただいて参りました。この資料を見ますとネット関連の事業が無くて、ネットの活用をどこかにもっと盛り込めるのではないかなと思いました。

#### ○政策企画課長補佐

その重要性は重々承知しておりますけれども、観光サイドとしては鶴岡市の直接ではなく、観光連盟の事務局がございまして、そちらの方では今ホームページを新たに刷新するという準備を進めております。また食文化に特化した部分も、ミラノに行って向こうでもいろいろな資料映像を作ったわけなので日本語版にアレンジしながらそういうのも新たにインターネット上に公開していく



という予定にはなっておりますし、当然それで充分ということもないでしょうからその辺は関係課の方に伝えながら取り組んでいきたいと考えております。

○会長 はい、よろしいですか。その他、誰かございませんか。

○委員

11ページで地域コミュニティの活性化の促進ということで地区担当職員制度の活用となっておりますが、この地区担当職員というのはそれぞれの地区に担当職員がいると思えますけれども、行沢地区は誰かわかりません。この間自主防災活動をやりましたが、役場の職員は誰も出てきません。地区担当と言いますけれどもこういう時こそ職員が出てきて、何か指示とかいざという時どうするか住民にお知らせした方がよかったのではなかったかと思いました。もう1つですけれども、次のページ福祉介護体制の充実ということで、私たちこれから年をとっていったらどうなるかわかりませんが、地域の福祉計画というのがありますがこれはずっとマメな計画表というのがあるのでしょうか。

○会長 はい2つ程ございましたので、総務企画課長の方から。

○総務企画課長

地区担当職員制度ということで今年で3年目になります。なかなか広がりがないと今おっしゃったとおり広がらないと悩みなのですけれども、誰が担当かは資料がなくわからないのですが、班長1人と担当1人という2名体制だと思えます。自治会長会議等いろいろな場を通して何でもいいので呼ばってくださいというお話をずっとしているのですけれども、なかなか集落でも役員会等になると他の話し合いの項目があるでしょうからなかなか呼んでいただけないのかなと、今お話しあったとおりそういった活動でもいいと思えます。地区担当になるか地区指定職員という2つの職員制度がありまして、地区担当についてはそれぞれの集落に張り付いて集落の課題等を一緒になって解決していくという職員の研修という意味も含まれておりますので、ぜひ呼ばっていただければと思います。地区指定職員ということで災害時ですけれども、先程ありました防災訓練そういったものについてもぜひお声掛けをしていただければこちらの方から出向くようにしたいと思いますので、各集落でも自治会長さんの方から話があると思えますけれども、皆さん方の方からも宣伝等お知らせしていただければと思います。よろしく申し上げます。

○市民福祉課長

朝日地域の福祉計画については社会福祉協議会朝日福祉センターの方が中心になって今策定中です。春に1回目の会議を行いまして第2回を今月の下旬に行うと聞いておりますがまたわかり次第進捗状況等をお知らせしたいと思います。

○会長 はい、その他ございませんか。

○委員

素晴らしい資料で30年までにはこの取り組みを全てやってもらえば限界集落は無くなるだろう

と今つくづく思っているところです。まずひとつがんばってよろしくをお願いします。これから言いたいのは特用林産物で生活している1人でありまして。ナメコの補助金制度は本当に助かってありがたいと思っておりますし、引き続きお願いしたいと思っております。今1番困っているのは庁舎の方にも耳に入っているかと思っておりますけれども、ナメコ栽培するにあたり国有林を払下げて何十年もやっております。ここ最近1週間くらい前に担当区の方から電話がありまして、自然保護団体が動いてきて払い下げをするのが難しくなるような話を耳にしております。恐らく朝日の大口のナメコ栽培の人方はほとんど国有林を払下げて栽培しているかと思っております。その中で今のところ2、3年前からこの制約はありました。あるグループには払下げてこちらのグループには2年待ってください3年待ってくださいというような、今のところ制約があつてちょうど私の組合は今ストップがかかっています。来年は払下げするからと言われて来年までがまんして、今年の場合は水土里ネット庄内赤川土地改良区の山を払下げしてもらって今伐採している最中です。私が言いたいのは、その昔から生産組合からずっとやってきた国有林をお互いに共用しながらがんばって生活をしてきたけれども、今ここにきて国有林を払下げできなくなれば私ども首を切られるのと同じことになります。この資料に載っていますけれども国の方に何とか払下げするようにお願いしたいです。うまく言えませんが一時も早く、即、国の方、例えば担当区通して鶴岡森林事務所、秋田営林局を通してとなると思っておりますがすぐにでもお願いして、できれば来年から払下げできるような方向で話を進めてもらえば大変ありがたいと思っております。これはお願いであります。

それからもう1点、この間の会議でも大鳥なものだから自然の家がすごく気になっております。これから冬期間半年間お客も無く、今指定管理になってからどうなっているのかわかりませんが、お客が無いのに職員が貼り付けになつてもう少し活動してもいいのではないかと考えているけれども、なかなか活動もここ何年かは見えないし目に見えてこない。いっそ春まで休んだ方がいいのではないかという地元の声もありながら、なかなか地元の人では何ともできないから、これは行政の方の力で、何とかもう少し地域に活力を生み出すような活動をするなりイベントをするなりしてもらえるのであればありがたい。いっそ何もしないのなら春に子どもたちが来るまで閉館するとか、そうしないと誰も来ないのに職員だけ暖房費使って給料を出して何をやっているのだと集落の話のタネにつきるわけだし、その辺もう少し有効利用、有効活用を何とか行政の力でできないものかということでこれはお願いなのかわかりませんが一つよろしくをお願いします。

#### ○産業課長

払下げされた国有林を活用したナメコ栽培の継続についてお話を申し上げたいと思っております。先般、委員がおっしゃったとおり大鳥の方が私のところに来てその実態を伺いました。自然保護と国有林の伐採の因果関係というのはちょっとわかりませんが、私の方としては森林管理署の方に日程を取ってもらっています。かたやもう一方では要望書の素案も一応作りながら、その前に自然保護国有林の伐採との因果関係等、起因したものを私どもの方で確かめたいと思っておりますので、今しばらく今年中にはその原因たるをお話しできると思っておりますのでお待ち願いたいと思っております。

#### ○総務企画課長

2番目の大鳥自然の家の冬期間の活動についてですけれども、おっしゃるとおりなかなか冬は雪が多くて活動ができていないというのは事実だと思います。庁舎としましていろいろな体験プログラムの発掘、開発ということで取り組んでいるところです。なかなか難しいところはありますけ

れども自然の家と総務企画課の方で話し合いを進めながら、大鳥らしい冬の体験をできるようなものが無いかこれから検討して参りたいと思います。いろいろなプログラム等を考えていきたいと思っています。

○委員 よろしくお願ひします。

○委員

高速交通網整備の促進ということでここにいろいろ書いてありますが、高速道路はだんだん出来てきておりますけれども県境の2つとも目に見えてこないようです。陳情もかなり行っているようですので強力に進めて欲しいと思います。それから鉄道の方、酒田の方では山形新幹線の延伸ということでやっているようです。鶴岡の方では羽越本線の新幹線との同一ホームへ入るようになるということで、30年だったと思いますけれども夏にはできるという話であって、その後からもっと早くできるのではないかと話でありましたけれども、その辺ははっきり言ってどのくらい進んでいるかわかればお願ひしたいと思います。それから112号線も48号線の道路ができてからということで、今年の夏ぐらいに新聞にも出たように思いましたけれどもその辺は協議会か何かをもって進めているのかどうかおしえてほしいと思います。

○地域振興専門員

新潟駅の新幹線と羽越本線の同一ホームのご質問を頂戴いたしましたが、今お話がございましたとおり30年には完成する予定で今着々と進んでいるような状況でございます。

○南部建設事務室長

日沿道の話と国道112号の話がございました。年度的、計画的な紹介、具体的にはできませんけれども日沿道についてもかなり事業着手を進めておりますので、いつまでというスケジュールは今お話できませんけれども、国の方も積極的に取り組んでいますので計画に沿っていくのではと思っております。112号線の高速道路という意味でしょうか。こちらの方も要望はさせてもらっていますけれども、112号線の高速道路はハードルが高いのかなと思っております。ただこれは毎年重要要望ということで継続して申請はしておりますので、引き続き市としても国、県の方に働きかけをしていくというスタンスでございますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長 よろしいですか。

○委員

私はあさひスポーツクラブの方からきているのですが、体育施設、スポーツセンターですけれども、この豪雪地帯にも関わらずロビーには暖房設備があるのですが中にはジェットヒーターを持ち込まないと暖房設備が何も無いということで、常にいろいろな大会に行きますが剣道に限ってですが他の指導者の方に「冬は朝日は絶対に行かぬ」と言われてしまいました。やっぱり医療の面を充実することも大事なのですが、よりこれから高齢になる方が増えることを考えると、ものすごく体育館は冷えますので寒い設備の中で果たして動きたい人がいるのか、怪我ですとか病氣防止のためにも、全部にはなくともどちらか片方にだけでも簡単に付けられるような暖房設備がないと活

用する人がいないのではないかなと思います。他の市内の施設だと床暖房になっていたり、コミュニティセンターの中に体育館があって、そこをコミセンに来た方が練習ですとかスポーツのイベントで使えるというところもありますので、これからはその辺も考えていただきたいなと思います。もう一つがまちづくり全体についてなのですが、文化会館にしても荘内病院にしても雪の問題があって、あの道路狭い中をみんな車で集まってくるわけなのですが、旧鶴岡市内の方はいいのかもしれませんが、駅があって電車が通っているところが鶴岡市の場合は旧鶴岡市と藤島町、温海町のみです。バスの路線にも限りがあり、どうしても朝日地域、櫛引の方、遠方から来る車で移動する方が非常に多い町だと思います。その時に駐車場の確保とか入るまでの入り口の狭さを考えると、あの大きい施設を、高速道路これだけ整備されていくわけですから高速道路のインターに造った方が入りやすく出やすく、駐車場の確保が容易でもっと県外からもお客さんをお客さんと呼べるような施設になったのではないかなと思います。今、工事着工していますので今から変えることは無理なのですが、これから3年5年と長い目でまちづくりを考えると、旧市内の方だけに使いやすいと思われる施設ではなくて、合併したわけですから鶴岡市全体の方が使いやすいと思うような施設を造っていただきたいと思います。これはお願いです。

○会長 最初にスポーツセンターの関係は誰か。どんな考えをもっているか。

○総務企画課長

所管がスポーツ課になりますけども、今の件充分わかりますのでスポーツ課の方に話をさせていただきます。この場で回答できなくて申し訳ないのですがよろしくお願いします。

○会長

駐車場のことは、全体のことだと思うけれど、すぐここでどうこう言うのは難しいと思うけれども。

○政策企画主査

市全体のまちづくりの話になってしまう訳ですけども、基本的にそういった利便性も考慮しながらコンパクトなまちづくりという一面もありますし、どんどん市街地を広げていくわけにもいかないという一面もありますので、その辺を兼ね合わせたまちづくりを今後進めて参りたいと思います。

○委員

資料の24ページになりますが、子育て世代の負担軽減というところで小学生以下の子どもが3人以上いる世帯において、第3子以降の保育所保育料無料にというところがありますが、1番上の子が12歳で3人と言えば妥当と言えば妥当なのかもしれませんが、私と同じ学校に行っている父兄の方でつい最近赤ちゃんが生まれたのですけれども、3番目で補助もらえるのと言ったら、1番上の子が中学1年生なものですから「もらいねあんけ」という話も聞こえてきました。ここの部分の幅をもう少し広げることができないのかどうかというところが気になるところでありました。あともう1点ですけども37ページです。中高一貫教育の推進というところで、以前、そのような方向性で進めていくというような内容のことを聞いていたのですけれども、具体的にどうい

った進め方、例えばモデル校がどこでといったような話があるのであれば教えていただきたいと思っております。

#### ○市民福祉課長

第3子以降、小学生以下第3子以降保育料無料化の拡大ですが、これについては本所の子育て推進課の方でいろいろシュミレーションをやりまして、12歳以下あるいは中学生以下あるいは18歳以下とやっております。やはり限られた財源でありますので、どこかで線を引かないといけないというところで、まず12歳以下小学生以下に今のところ落ち着いているところです。要望があったということは伝えますが、そういう声は本所にも届いているわけでありまして、限られた予算をどのように使うかということをお財政課中心に考えておりますのでご理解いただきたいと思います。

#### ○政策企画課長補佐

中高一貫校の話ですけれども、市の方でも要望事項ということで県の方にあげております。モデル校というよりはむしろ新設というような形になっておりまして、当然新設となると今現在も子供の数、入学する生徒の数が少なくなっている現状もございますので、生徒数もみながら統廃合とか学級数の減とか将来的なあり方とか、その中で中高一貫校をどこに持っていくのかという話になっております。どこかモデル校というよりも、東根の方でしたか東桜学館が新設されておりますけれども、そういった形で新たな学校ができるという認識でおります。これも庄内、何とか鶴岡にということいろいろ動いている最中でございます。先程の保育の関係も総合戦略の中に位置づけておりまして、実はこの第3子以降というのは鶴岡では県内でも1、2番目に早くこの制度取り入れたのですけれども、他のところがどんどん横並びし、なおかつ町村単位ですと結構手厚くしてまして、逆に今鶴岡の方が遅れているという状況もございますので、この辺は健康福祉部でも充分頭に入っておるようですので、また別の機会でいろいろ対応の方を回答できるのではないかと考えております。

○会長 はい、ありがとうございます。

#### ○委員

22ページ「ふるさと鶴岡を愛する子どもの育成」がありますけれども、小中学生を対象としているのかわかりませんが、これは親御さんが9年間かかって仕込んでいるところがあるのではないかなという気がします。特に朝日地域周辺地域などは、当然農業林業畜産など一生懸命やってきたわけですけれども、子どもから見たら絶対こういう仕事はしたくないと思っているような気がするのです。時間は、休みは無い、金は無い、毎日親父の苦虫つぶした顔ばかり見ている、後を継げとか担い手になれと言っても所詮無理な話なのではないかなという気がします。ふるさと鶴岡を愛する心育む活動を推進するとありますけれども、具体的に子どもも然りですが親御さんなどにもどういふふうな対策というか活動を推進するのにかちよつと疑問に思えます。そしてやはりこういうことの連鎖が何十年も前から人口減を生んでいて、過疎対策と称しても解決しなかったという現実はある訳ですけれども、ぜひこの年寄り生きてきたという経験上自信を持って、堂々と子ども教育できるような生活ができる場ということを望みたいのですが。終わります。

○政策企画課長補佐

おっしゃるとおりのことだと思います。こちらのページちょうど総合戦略の人口減少対策の中の1つの項目になる訳なのですが、やはりふるさと鶴岡ということで学校教育的な部分も入ってございまして、当然学校の方でもいろいろ地域の歴史であったりそういった良さというのを授業、学習の中で広く子どもたちに教えていくということがございます。主な取組みというのがこの戦略の中にたくさんございまして、その中には、地域でやはりふるさとの良さ、すばらしさ、郷土愛そういったものも醸成させていきたいと思いますことにもなっております。地域も家庭もあるわけですが、やがて出て行っても帰って来てもらうためには、やはり自分の生まれ育ったところが素晴らしい住みやすい、そういったことがない愛着が無いと帰ってこないだろうということで、何とかそういった気持ちを持ってもらえるようにしたいというのがこの戦略のひとつの方針でございます。当然ですが帰って来ないとしても、鶴岡朝日地域はこんないいところなんだとアピールできるぐらいの人材に育ててもらわないと困るなということもございます。田舎のことを堂々と胸を張って発言できるようなそういった子ども、我々も含めてでしょうけれどもなってほしいということがこちらの方に位置づけられております。我々行政だけでなく、地域家庭全てにおいてぜひ少子化対策だけでなく地域の活性化という面でもいろいろみなさんからもご協力いただきたいと思っております。

○会長

はい、時間も大分おしてきましたので、もう残り2名程から一言ずつお話をいただければと思います。

○委員

先程の中高一貫校教育の関係では、お隣の秋田では今度廃校するという話もニュースで聞こえてきましたので、果たしていろいろなことを検討した結果秋田ではそういう結論になったのだと思いますので、その辺は慎重に取り組んでいった方がいいのかなと思っております。必ずしも一時取り上げたようなメリットだけの教育制度ではないような気がするものですから。それから11ページの1番下の欄の公共交通輸送対策事業の推進というところで、今回の3年間の間に定期バスも廃止なる訳ですから、このぐらいの表現で果たして大丈夫なのかなというところが若干気になりました。

○会長 では今の公共交通の関係に対する考えを。

○総務企画課長

今、公共交通対策の表現ということでいろいろご指摘ありましたけれども、表現としてはこのようになっていますけれども、前回お話したとおりにこれから年内中あたりから、実際の行動と言いますか調査等に取り組んでいく予定であります。小さな拠点の中でも話があったとおり、バス対策等と合わせて進んでいくということで、まだ具体的に今お話できない状況ですが、表現的にはこのような形になっていますけれども、実際的にはこれから進んでいくということでご理解をいただければと思います。

○会長 それでは、最後になりましたけれども。

## ○委員

ここの中にたくさんの行政施策が盛り込まれておりまして、1つ1つはみなもつともで重要なことだなというふうに思う訳でございますが、これを推し進めるにあたってその根幹となすものはなんであろうかということ考えた時に、昨年にまち・ひと・しごとの創生法が成立してそれに沿った形での今回の16ページからの総合戦略の推進ということで載っておるわけでございますが、総合戦略の基本的な考え方は、何と言っても人口減少にどう歯止めをかけるかというのが基本的にこの総合戦略の中に位置づけられているということを考える時に、この総合戦略の重点施策の中に確かに仕事の部分を中心に重点施策として捉えているようでありますが、また県の企画調整課長さんですかその方が言っているようですが、総合戦略の優先順位はそのまち・ひと・しごとではなくて、しごと・ひと・まちではないかというようなことも言っているようですが、そこからきているのかなと私は捉えたのです。しかしながらやっぱり人口減少がこれからの1番の課題だなと思う時に、その具体的な人口減少に対処するところが具体的に見えないなというふうに思いました。先般、天童と金山、西川の企画調整団体の係長あるいは主査の方々が対談している記事を見ました。その中では、天童市の場合であれば現在1.52の特殊出生率を42年には1.8にするというのだと、人口はこのぐらいにするのだというようなことを言っております。さらに西川ではこのままだと人口問題統計研究所ですかの推計によりますと、西川町の場合はもう消滅集落がいくつも出てくるというようなことでした。そうさせてはられないということで現在のいわゆる特殊出生率も1.41から1.93まで引き上げてこれだけの人口を確保しようと、そして町を活性化していこうとそういうふうな位置づけをしているようですが、人口ビジョンというものがここの中でちょっと見えないものですから、総合創生法の沿った形の総合戦略の中で、生まれてきた子どもをどうするかということが当然ある訳です。妊娠、出産、子育て、生まれて子育てしやすい環境づくりそれは当然なのですが、それをさらにもっと具体的に、現在鶴岡市の特殊出生率が1.55です。それを例えば1.9ぐらいにして、人口を今13万いくらののを、それを堅持するか、そういう中で1つ1つの施策というのが出てくるんじゃないかなと、その辺の人口がきちんと見えないというところに疑問を感じておりますので、その辺をもっと具体的に表した方がいいんじゃないかと、人口の減少はこれからの大きな鶴岡市に限ったことではないのですが大きな課題であります。山形県自体でも、52年に80万台になるということで高齢人口が30から40%近くになるそういう実態の中で人口の特殊出生率を上げていくような方法の施策は、どのくらいを目途にしてこの行政の施策というのがどのくらいの人口を目途にして考えられているのかなということをまずお聞きしたい。

○会長 事務局の方よろしく申し上げます。

## ○政策企画課長補佐

ご意見どうもありがとうございました。ご指摘のとおりと思います。実は鶴岡市の方でも同様に社人研、人口減少対策の組織の方から人口減少するだろうという推定値を公表されておまして、それによりますと今から25年後、平成52年には今13万の人口が9万4千人台になるというような数字があげられております。当然我々としてもその危機感を感じておまして、それに基づいて、先程委員の方からあった人口減少に特化した総合戦略を策定した訳でございます。数値目標が無いのではないかとご指摘でございましたけれども、この総合戦略と合わせまして人口ビジョンを策定しております。誠に申し訳ございません、今日資料としてお持ちしていなかったのが、今

概要版というものを皆様にお配りさせていただきますけども、人口ビジョンによれば例えば天童市が1.85というお話もございましたけれども、鶴岡市も平成52年これを目標に何とか10万人を堅持させたいと、しかもその時点だけでなく末永く10万人最低でも維持していきたいと強い思いがございますので、合計特殊出生率昨年1.52だったのですけれども、それを1.6、1.8と段階的になんとか引き上げていく施策を取りまして最終的に2.07という目標を上げております。2.07中途半端な数字ではないかと思われるかもしれませんが、いわゆる2.0だと本来は均衡になるということなのですけれども、中にはお亡くなりになる方がいらっしゃいますので一般的に2.07が均衡という数字としてあげられています。鶴岡市もそういった形で合計特殊出生率を段階的になんとか上げていって、子どもが今よりも増えていくようにしたいというところがございます。また一方で移住定住という施策もございまして、こちらの方につきましては先程新規就農というお話もさせていただきましたけれども、域外からいろんな方が移住されて来る、もしくは企業の関係で新たに雇用として住まれるとこういってことも合わせて全体的に人口の引き上げを図っていきたくて考えております。これが人口ビジョンということで数値的な部分になっておりますけれども、今日お持ちしなかったということで誠に申し訳ございませんでした。実は総合戦略人口ビジョンというのは鶴岡市のホームページでみることができまして、もし機会がございましたらぜひご覧いただきたいと思っておりますし、また見てさらにお感じになることがありましたら、ホームページからいろいろ意見も書き込めるようになっておりますのでぜひよろしくお願ひしたいと思っております。

#### ○委員

今の関連でございまして、確かに頼もしい2.07まで特殊出生率を目標にしている将来的な目標、非常に頼もしく明るく感じたところでございまして、特殊出生率はもちろんのこと人口移動の定住の問題もありますけれども、今の総合戦略の中でも都市から地方へという、今6万人位ずつ地方から行っているそうですけれども減らして逆に転出者を地方に4万人位ずつ首都から移住するようなストーリーの中にも今の総合戦略の中にはあるようでございますけれども、いわゆる子どもを産み育てやすい環境づくりと合わせて、先程の移住者を受け入れてそこで安心して生活できるような環境整備も並行してぜひお願ひをしたいものだなと思っております。

#### ○会長

はい、ありがとうございます。これで皆さん方から一通りご意見をいただいたところであります。これで意見の方は打ち切りたいと思っております。今日皆さん方からいろんな立場の中からご意見をいただきましたので、これから来年度以降の実施計画の中に充分参考にさせていただければありがたいなと思っております。

私自身もちょっと話の中で感じたことは、ふるさとを愛する子どもをどうして皆でつくっていけるのか、そうすることによってやはり小さい頃の思い出が大人になっても朝日はいい所だったなと思えるような子どもをどうして育てていけるのか、ということ为先程意見出た時に感じました。朝日はいいところがなくて悪いところだけだよという中で育った子どもと、朝日で山に行ったり川に行ったりそういうところで育った子どもの心の中の思い出というのは、全然違ってくるのだらうなと、そういうものをふるさとを愛する子どもの育成というようなことをもっと力を入れていただいて、親も子どもも皆でそういう子どもを育てていけることによって、IターンもUターンも少しずつでもそういうものに繋がっていけるのではないかとというようなことを感じたところです。そう



いうことを含めて皆さん方からいろんな意見を出していただきました。ありがとうございました。事務局の方からはこれからの計画に充分今日の話し合いの部分の参考にしていただければと思います。この場所を降りさせていただきます。ご苦労様でした。ありがとうございました。

○総務企画課長

安達会長ありがとうございました。それでは4のその他に移りたいと思います。皆様方から何かございますでしょうか。

○会長 今年はこれで終わりでしょうか。

○総務企画課長

予定された3回は終了しましたのでまずは終わったということになります。もし喫緊の課題等が出てきましたら、年度中にお集まりいただくこともあるかと存じますがまず今回で終了ということになります。またこのメンバーを中心に来年度任期2ヶ年ということでございますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思っているところでございます。皆様方より特になければ閉会を副会長の方からお願ひします。

○副会長

これもちまして本日の朝日地域振興懇談会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。